

大和の子 ~積み重ね つみ重ねても またつみかさね~

令和7年6月20日 No. 7 文責：校長 河野 太郎

プールがはじまりました



6月3日（火）4日（水）と2日間かけて5・6年生がプール清掃をしてくれました。昨年度の間に、塗りなおしていただき、きれいになっているとはいえ、何か月も水を張りっぱなしになっていたの、だいぶ汚れています。5・6年生がそれぞれの分担を一生懸命きれいにしてくれたおかげで、充実した水泳ができそうです。

6月9日（月）にプール開きを行い、児童会会長、副会長が代表してプールでの安全を祈願しました。

2・3日雨天のため実施できませんでしたが、12日（木）子どもたちが楽しみにしていたプールがスタートしました。最初に入ったのは4年生です。朝から嬉しそうにプールバッグを抱えてきた子どもたちが意気揚々とプールに向かいます。その次の学年は6年生でした。この日はそれほど暑くはなく、水の中は冷たく感じるかと心配になりましたが、プールからは子どもたちの元気な歓声があがっていました。

これから夏休み前までプール指導が続きます。保護者の皆様には、水着の準備等でまたご苦勞をおかけしますが、よろしくお願いします。子どもたちが、少しでも水に慣れ、水泳が上達することを祈っています。

救急法講習会を実施しました

プールが開設されるということで、水の事故防止の観点からPTA保健部による「救急法講習会」が実施されました。今回の救急法講習会は、6月5日（木）に、5年生保護者を中心に希望される保護者の皆様、保健部の方々、そして教職員を対象とした講習会でした。

当日は、少し蒸し暑い感じでしたが、多くの保護者の方に参加していただき、実技を交えながらの講習会に積極的に参加していただきました。講師は本校事務員の長沼俊彦 様です。これまで、南アルプス市消防本部消防長を勤め退職されるまで、消防業務にかかわって来られた経験と知識を基に、わかりやすく救命法を紹介していただきました。



講習会の中では、救命救急の手順と留意点について話をしていただきました。特に印象に残っているのは、救助者一名に対して、自分一人しかいないときの対応です。「自分一人しかいないときは、まず救急車を呼び、救急隊の入ってくる入口を確保すること。その上で、携帯電話等の連絡ツールを傍に置き、心肺蘇生に入ることでした。これから夏本番を控え、水難事故が多くなる時期です。今回の講習会は充実した内容でしたが、使わない知識となるよう、安全に水と関わる指導も引き続き行っていきたいと考えます。

エコパ伊奈ヶ湖で体験学習（５年生）



6月5日（木）午前中いっぱいかけて、5年生のエコパ伊奈ヶ湖体験学習が行われました。南アルプス市の観光資源である豊かな自然を活かした活動ができる「エコパ伊奈ヶ湖」に今回はバスで向かい、自然を題材にしたゲームを楽しんでいました。

エコパ伊奈ヶ湖に着いて最初に学習したことは、「エコパ」についてです。これは、「ユネスコエコパーク」という名前を基に付けられていますが、ユネスコエコパークとは何か、丁寧に話をうかがうことができました。

ユネスコ（国連教育科学文化機関）により生態系の保全と持続可能な利用を両立させることを目的とした国際的な地域指定制度です。南アルプス市は平成26年（2014年）6月に指定を受け、今年で11年目となり、ちょうど今の5年生と同じ年齢になります。

説明を聞いた後は、自然と人の共存を目指して指定されたエコパの周りを、グループごとに散策します。「生き物クイズラリー」は、散策をしながら様々なクイズに答えていく楽しいゲームでした。午前中いっぱいとは短い時間ではありましたが、子どもたちはクイズを楽しみながら、伊奈ヶ湖の自然にふれることができたと思います。

2年生は地区探検に・・・

2年生は、生活科での地区探検がスタートしました。まず手始めは曲輪田地区です。曲輪田地区は学校から大和川を挟んで西側の地区で、田んぼがたくさんあるのが特徴です。

6月13日（金）、この日は天候にも恵まれ、絶好の見学日和になりました。学校から歩いて15分、最初に到着したのは「諏訪神社」とその隣の「曲輪田農村公園」です。

曲輪田の諏訪神社の特徴は、境内に池があり川が流れていることです。池にはコイがいるということで、子どもたちはそれも楽しみにしていた様子です。

諏訪神社の見学をしていると、

「コイがいたよ。」

と友達に教えている姿が見えました。また、神社本殿前の狛犬の様子も丁寧に絵にかき表していて、一生懸命に見学をしていることがよくわかりました。

農村公園の様子も見学し、少し休んだところで出発。今度は、さらに西側の公民館を目指しました。公民館には看板が飾ってあり、内藤多仲先生が書いたことがわかりました。

帰りは田んぼ道を歩いて戻ります。

「学校はどっちにありますか？」

と子どもたち。確かに普段透らない道だとどこに学校があるのかわかりづらいものです。

「あそこの大きい時計が目印だよ。わかりやすいね。」

北小の校舎の大きな時計がよく目に留まります。少し違う角度や場所から学校を見ることもたまにはいいことだと思いました。

